

食品安全関係情報(8月10日～8月30日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

8月10日～8月30日収集件数 (合計150/69件) (前回 6月29日～7月12日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (10/2件)	米国 (16/6件)	カナダ (2/1件)	EU、EFSA (27/20件)	各国 (19/12件)	FSANZ等 (6/5件)	中国 (12/7件)	各国 (10/4件)	各国 (2/1件)	報道、論文等も含む (46/11件)
化学物質 (45/18件)	化学物質・汚染物質 (11件)	0	0	0	0	2	1	2	0	0	6
	食品添加物 (4)	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0
	農薬 (22)	0	6	0	6	3	2	0	4	1	0
	動物用医薬品 (3)	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	器具・容器包装 (3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	その他 (2)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (68/22件)	細菌 (22件)	2	3	0	0	7	1	2	0	0	7
	ウイルス (13)	3	2	2	1	0	0	0	0	0	5
	原虫・寄生虫 (6)	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	プリオン (3)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	植物性自然毒 (3)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (9)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	その他 (11)	3	0	0	1	1	0	1	0	0	5
新食品等 (7/5件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (2)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	健康食品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アレルギー (3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他 (1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
肥料・飼料等 (6/7件)	肥料 (1件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	飼料 (5)	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (24/17件)	表示 (1件)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	放射性物質 (3)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	その他 (20)	0	0	0	9	5	2	2	1	0	1
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(8月10日～8月30日収集分 150件)のうち、主なものの紹介
(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciiis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ニュージーランド第一次産業省(MPI)、中国に輸出した乳製品から原材料に基準を超えた硝酸塩が検出され、輸出証明書を取り消したことを公表
- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、「第1回トータルダイエツスタディ報告書(第6報):アクリルアミド」を公表
- ・世界保健機関(WHO)、食品の化学的リスク評価に毒性学的懸念の閾値(TTC)手法を適用するための技術情報を募集

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・米国疾病管理予防センター(CDC)
 - チーズが原因とみられる *Listeria monocytogenes* による集団感染情報を更新
 - サラダが原因とみられるサイクロスポーラ症の集団感染情報を更新
- ・英国食品基準庁(FSA)、リステリア症の感染源特定のための調査研究を募集
- ・ニュージーランド第一次産業省(MPI)、フォンテラ社のホエイたん白質濃縮物中に見つかった細菌はボツリヌス菌ではなかったことを確認
- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、ヒトの中東呼吸器症候群(MERS)の感染源について結論づけるのは時期尚早と発表
- ・国際獣疫事務局(OIE)、動物と MERS コロナウイルスの関係に関する Q&A を発表
- ・欧州連合(EU)、各国又は地域の牛海綿状脳症(BSE)ステータスについて日本等6か国を「無視できるリスク国」に、コスタリカを「管理されたリスク国」に変更
- ・スペイン食品安全栄養庁(AESAN)、伝達性海綿状脳症(TSE)の監視・管理プログラムの改正を公表
- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、マッドハニー中毒(mad honey poisoning)を紹介する文書を公表
- ・欧州連合(EU)、活二枚貝における海洋性生物毒素イェツトキシソ類の規制値を引き上げ
- ・欧州委員会(EC)健康・消費者保護総局(DG SANCO)、欧州連合(EU)が通知を受けた動物疾病発生状況(BSEを含む)を公表

【新食品等】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、バイオテクノロジー(遺伝子組換え食品)に関する FAO の最新の取組を公表

【飼料・肥料等】

- ・欧州連合(EU)、飼料添加物としての 3-アセチル-2,5-ジメチルチオフエンの認可を取消し

【その他】

- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、日本の原子力事故に対する香港の食品安全管理を説明する文書を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)
 - モリブデンの食事摂取基準に関する科学的意見書を公表
 - フッ化物の食事摂取基準に関する科学的意見書を公表
- ・台湾衛生福利部、「藻類食品衛生基準」を公表